

気象と災害の概況

■ 概要

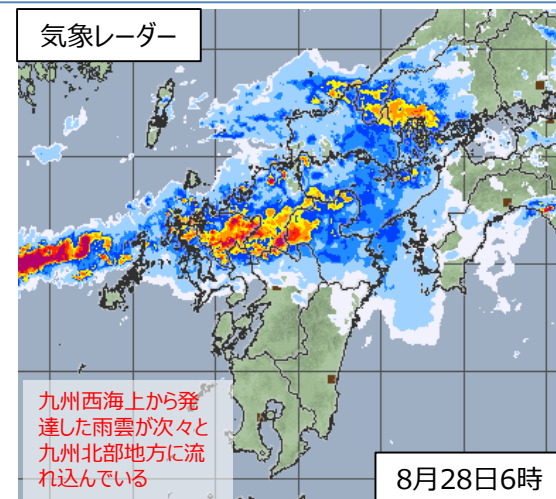
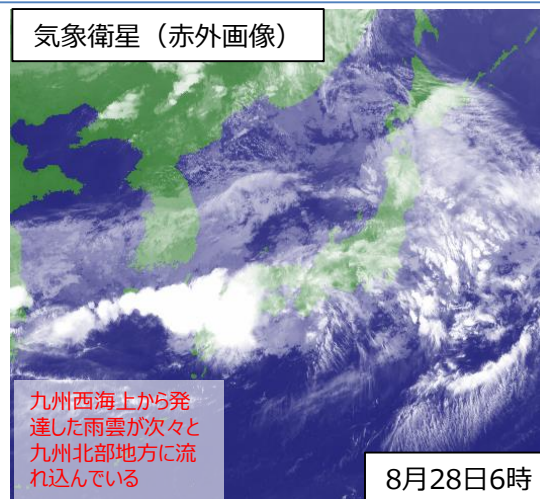
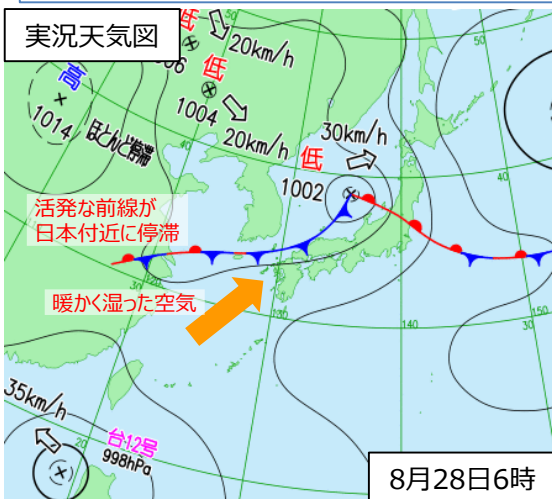
- 8月下旬から前線が日本付近に停滞し、前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込んだため、8月27日頃から活動が非常に活発となった。
- 前線に沿って発達した雨雲が東シナ海から九州北部地方に次々と流れ込んだため、佐賀県、福岡県、長崎県を中心に猛烈な雨が降り、26日から29日までの総降水量は長崎県平戸市平戸で626.5ミリ、佐賀県唐津市唐津で533.0ミリに達するなど8月の月降水量平年値の2倍を超える大雨となった。特に、28日明け方には線状降水帯が形成され停滞し、3時間降水量などの観測記録を更新するような大雨となった。
- このため、28日5時50分に佐賀県、福岡県、長崎県に大雨特別警報を発表した。
- この大雨の影響で、河川の氾濫、浸水害、土砂災害が発生し、人的被害や住家被害が発生した。また、停電や断水等ライフラインに被害が発生したほか、鉄道や航空機の運休等の交通障害が発生した（被害に関する情報は令和元年9月4日内閣府とりまとめによる）。

■ 災害状況（被害に関する情報は令和元年9月4日14時内閣府とりまとめによる） ※福岡県、佐賀県、長崎県のみ抜粋

福岡県：死者1名、住家一部損壊1棟、床上浸水130棟、床下浸水375棟

佐賀県：死者3名、住家全壊1棟、住家半壊2棟、住家一部損壊6棟、床上浸水1,243棟、床下浸水1,919棟

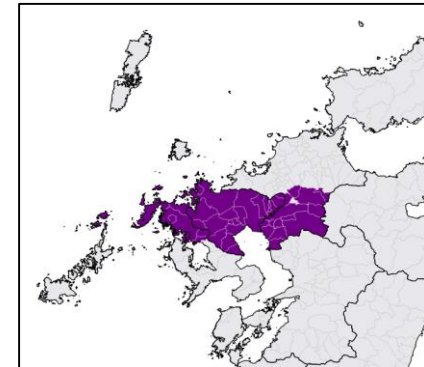
長崎県：住家一部損壊2棟、床上浸水21棟、床下浸水67棟



特別警報発表状況と降水量について

■ 大雨特別警報の発表状況

都道府県	発表地域	発表時刻	解除時刻
福岡県	大牟田市、久留米市、柳川市、八女市、筑後市、大川市、うきは市、朝倉市、みやま市、筑前町、大木町、広川町	8月28日 5時50分	8月28日 14時55分
	小郡市、東峰村	8月28日 7時20分	
佐賀県	佐賀市、唐津市、鳥栖市、多久市、伊万里市、武雄市、鹿島市、小城市、嬉野市、神崎市、吉野ヶ里町、上峰町、みやき町、玄海町、有田町、大町町、江北町、白石町	8月28日 5時50分	8月28日 14時55分
	基山町	8月28日 7時08分	
	太良町	8月28日 8時45分	
長崎県	佐世保市（宇久地域を除く）、佐世保市（宇久地域）、平戸市、松浦市、川棚町、波佐見町、小値賀町、佐々町	8月28日 5時50分	8月28日 14時55分



■ 特別警報の発表地域

■ 2019年 8月26日から2019年 8月29日までの降水量について

降水量の期間合計値

順位	都道府県	市町村	地点	期間合計値	
				※	mm
1	長崎県	平戸市	平戸（ヒラド）	※	626.5
2	佐賀県	唐津市	唐津（カラツ）		533.0
3	長崎県	松浦市	松浦（マツウラ）		526.5
4	佐賀県	佐賀市	佐賀（サガ）	※	484.5
5	佐賀県	鳥栖市	鳥栖（トス）		477.5

※ 8月の月降水量の平年値を超えた地点（唐津、松浦、鳥栖は平年値がない）

3時間降水量の観測史上1位の値を更新した地点

都道府県	市町村	地点	更新した値	
			mm	年月日 時分(まで)
福岡県	久留米市	耳納山（ミノウサン）	151.5	2019/08/28 06:30
佐賀県	佐賀市	佐賀（サガ）	223.5	2019/08/28 06:10
佐賀県	杵島郡白石町	白石（シロイシ）	245.0	2019/08/28 05:50

3時間降水量のこれまでの8月の1位の値を更新した主な地点

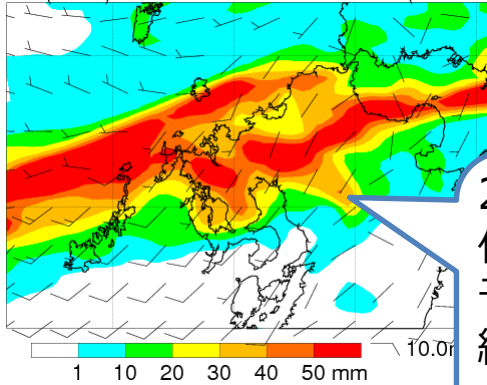
都道府県	市町村	地点	これまでの1位の値以上となった値	
			mm	年月日 時分(まで)
福岡県	久留米市	久留米（クルメ）	147.0	2019/08/28 06:40
福岡県	久留米市	耳納山（ミノウサン）	151.5	2019/08/28 06:30
福岡県	八女市	黒木（クロギ）	153.0	2019/08/28 07:20
福岡県	柳川市	柳川（ヤナガワ）	104.5	2019/08/28 05:50
佐賀県	伊万里市	伊万里（イマリ）	129.0	2019/08/27 17:40
佐賀県	佐賀市	佐賀（サガ）*	223.5	2019/08/28 06:10
佐賀県	杵島郡白石町	白石（シロイシ）	245.0	2019/08/28 05:50
佐賀県	佐賀市	川副（カワソエ）	111.5	2019/08/28 07:00
長崎県	北松浦郡小値賀町	小値賀（オチカ）	114.0	2019/08/27 09:30

多くの地点で、観測史上1位の値やこれまでの8月の1位の値を更新した。

※福岡県、佐賀県、長崎県のみ抜粋

雨量の予想と実際の状況について（佐賀県・長崎県）

- ・佐賀県で3時間200～250ミリを超える記録的な大雨となった原因は、線状降水帯が佐賀県付近に形成・停滞したためであった。
- ・線状降水帯の形成の有無や場所、その後の移動・停滞の予想は技術的に困難である。このため27日夕方時点で大雨特別警報発表の可能性について言及することはできなかった。



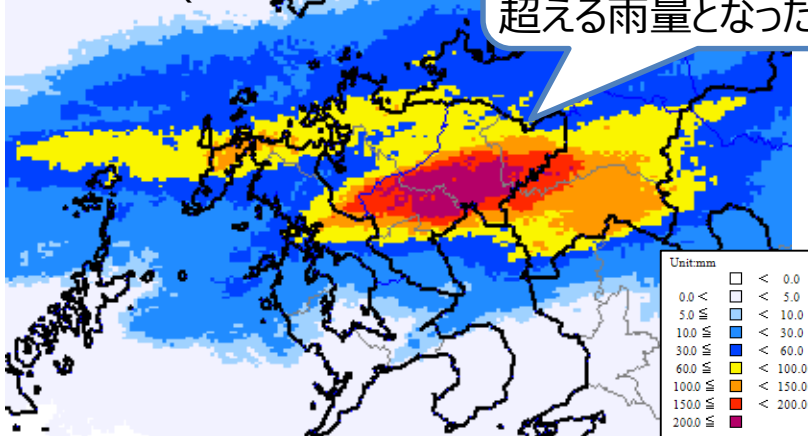
28日09時まで※1の予想3時間雨量※2

※1：数値予報モデル(MSM)で最も降水が強まる時間帯の予想

※2：27日12時初期値のMSM

27日夕方時点で28日朝を中心に佐賀県付近で強雨となることを予想していたが、現在の技術では線状降水帯が形成・停滞することまでは予想できなかった。

28日06時までの3時間雨量(実況)※3

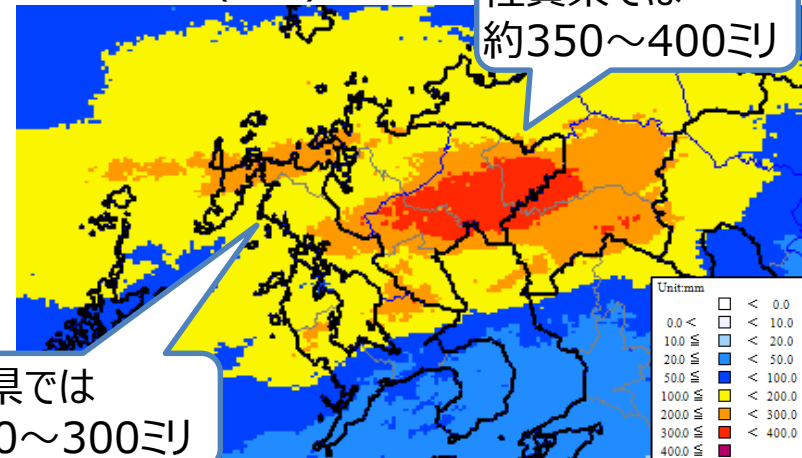


線状降水帯の形成・停滞で、3時間約200～250ミリを超える雨量となった。

27日夕方時点の予想24時間雨量（多い所）

	28日18時まで
佐賀県	200ミリ
長崎県	250ミリ

28日18時までの24時間雨量(実況)※3



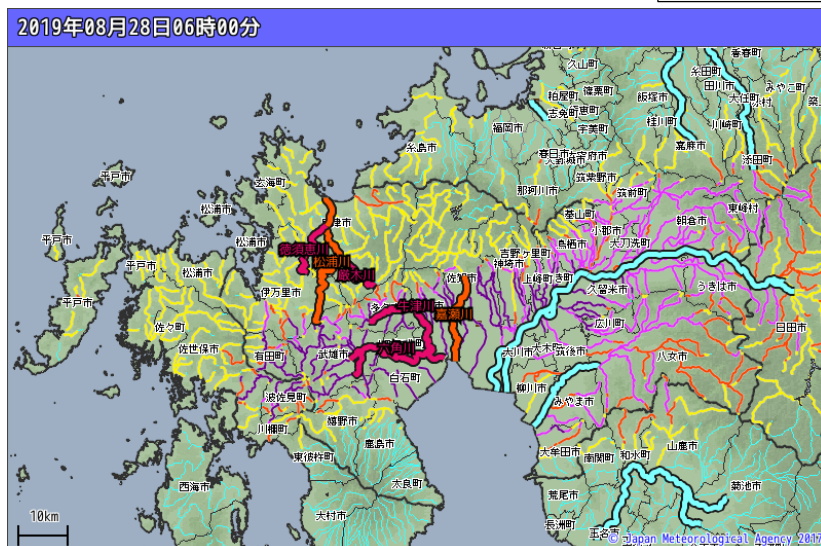
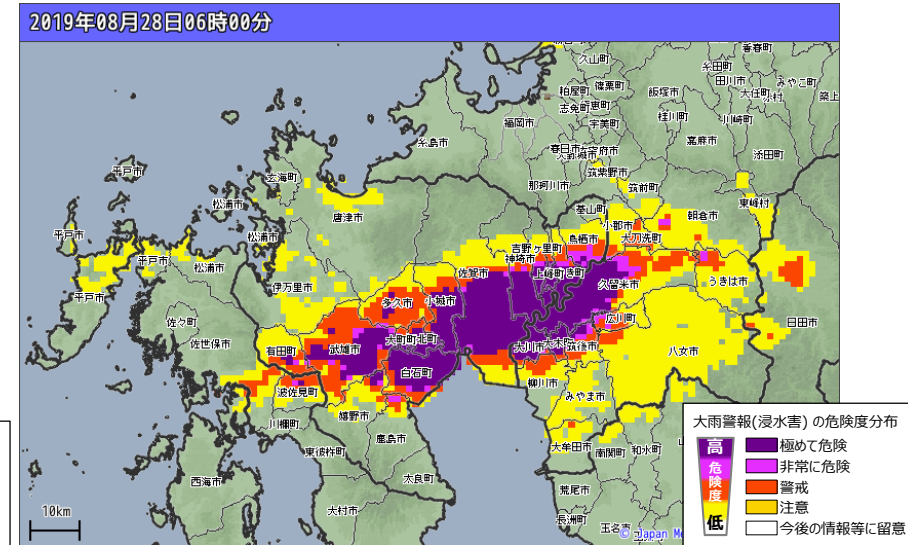
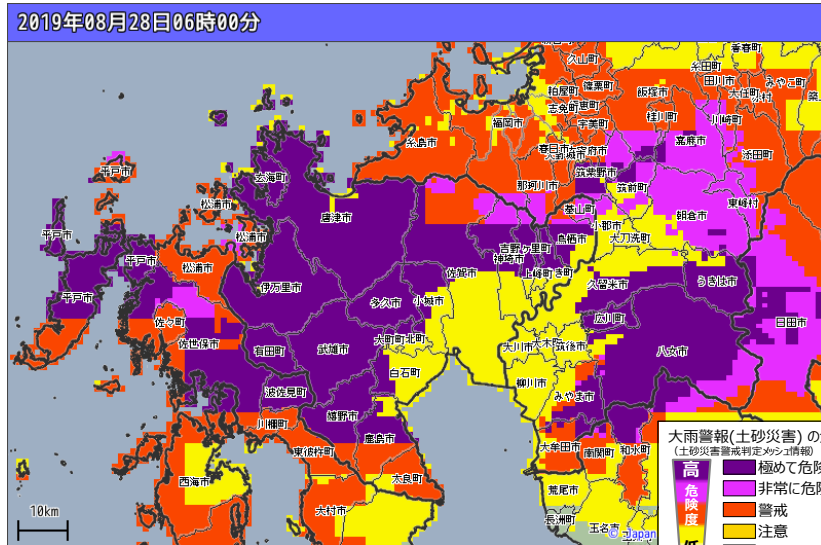
佐賀県では約350～400ミリ

長崎県では約250～300ミリ

※3：実況の雨量はいずれも解析雨量による。

危険度分布の状況

- 佐賀県や福岡県、長崎県では、危険度分布の「極めて危険」（濃い紫）が広い範囲で出現。



✓ 危険度分布では、地勢や地形に応じた危険度の高まりを示していた。

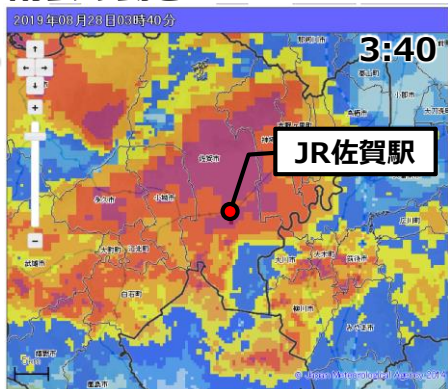
- 大雨警報（浸水害）の危険度分布では、佐賀県南部から福岡県筑後地方の平野部を中心に「極めて危険」（濃い紫）が広範囲で出現。
- 大雨警報（土砂災害）の危険度分布では、平野部を除いた地域で「極めて危険」（濃い紫）が広範囲で出現。
- 洪水警報の危険度分布では、多くの中小河川で「極めて危険」（濃い紫）が出現。

※ 危険度分布と災害の検証については、災害データが一定程度整理された段階で別途実施して参ります。

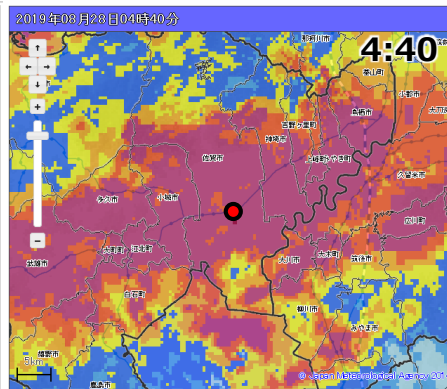
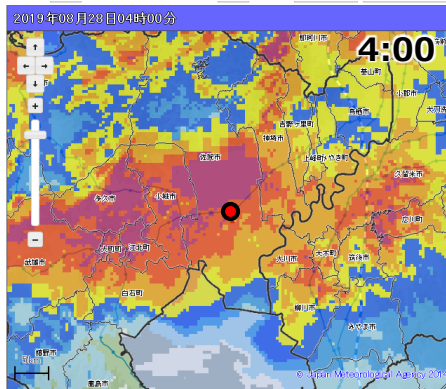
JR佐賀駅付近の大雨警報（浸水害）の危険度分布の状況について

- ・ JR佐賀駅では、28日午前5時過ぎ頃から、駅構内に水が浸水（報道等による）。
- ・ 大雨警報（浸水害）の危険度分布では、浸水が発生する約1時間前に「非常に危険」（うす紫）が出現し、重大な災害発生のおそれが高まっている予想となっていた。

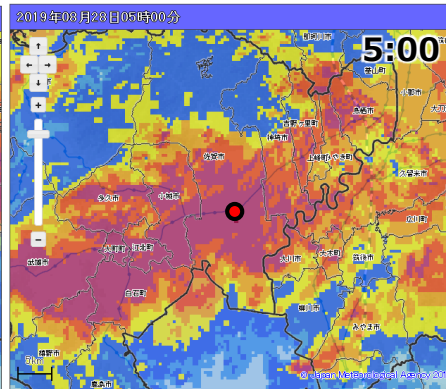
雨雲の動き



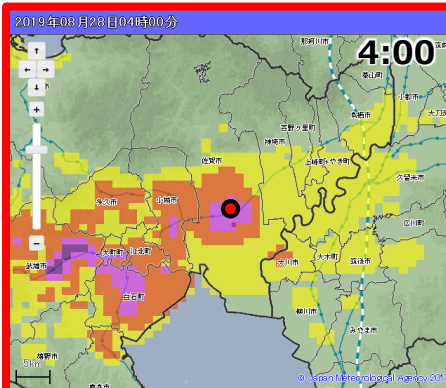
3時過ぎから降雨が強まる。



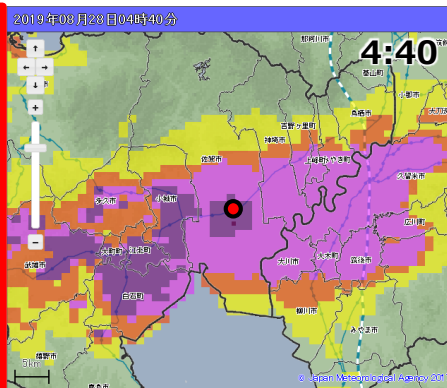
4時43分、佐賀で1時間110.0ミリの猛烈な雨を観測。



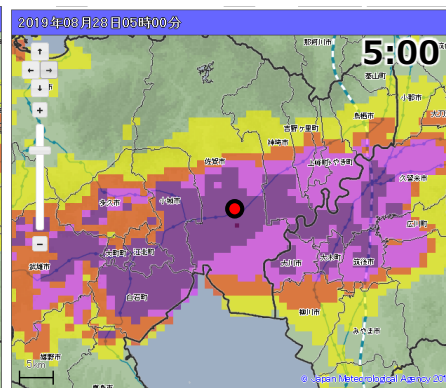
大雨警報（浸水害）の危険度分布



「うす紫(非常に危険)」が出現。
今後「濃い紫(極めて危険)」に到達することを予想。



「濃い紫(極めて危険)」が出現。
重大な災害がいつ発生してもおかしくない状況。



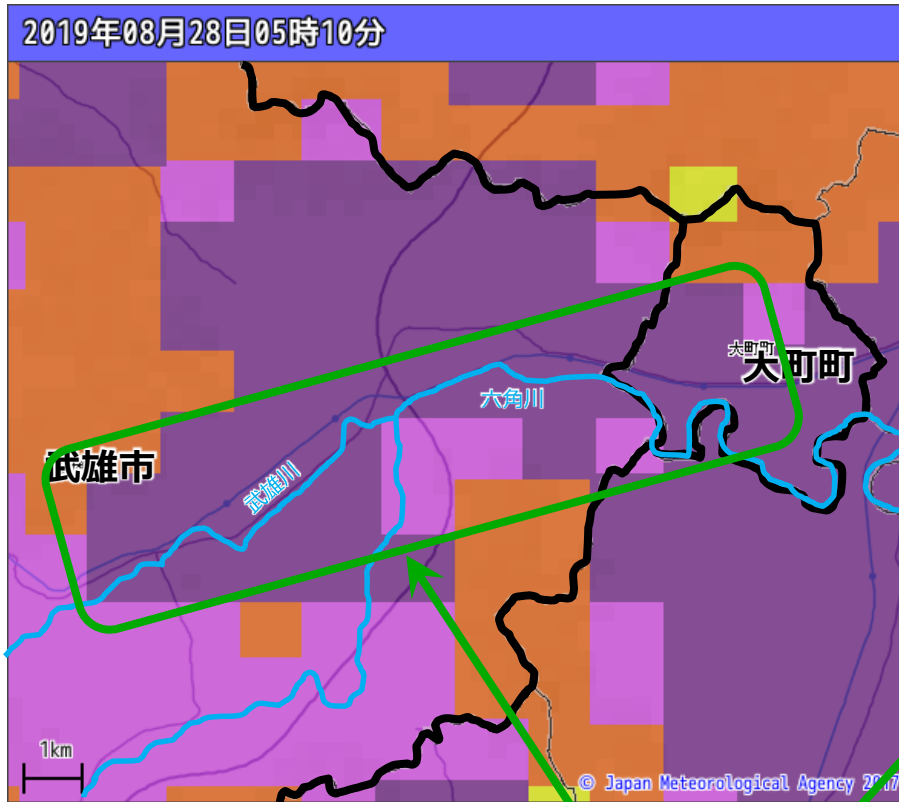
5時過ぎ頃から、駅構内に水が入り始める。

佐賀県武雄市、大町町の危険度分布の状況について

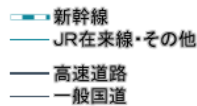
- 大雨警報（浸水害）の危険度分布及び洪水警報の危険度分布では、六角川や武雄川周辺の災害が発生した地域（佐賀県武雄市、大町町）において、「極めて危険」（濃い紫）が出現していた。

大雨警報（浸水害）の危険度分布

2019年08月28日05時10分



大雨警報(浸水害)の危険度分布

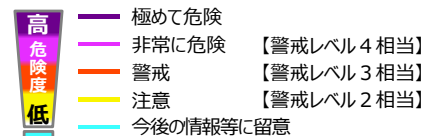


洪水警報の危険度分布

2019年08月28日05時10分

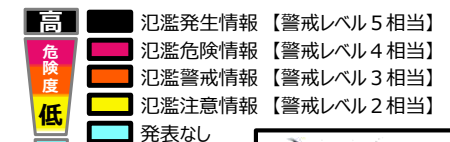


洪水警報の危険度分布



指定河川洪水予報

国や都道府県が管理する河川のうち、流域面積が大きく、洪水により大きな損害を生ずる河川について、洪水のおそれがあると認められるときに発表。



多くの災害が報告された地域